

令和5年 2月 2日

瀬戸内市議会議長

廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 川勝 浩子

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和5年 1 月 23 日 ~令和5年 1 月 24 日
研修会名	令和4年度第3回市町村議会議員特別セミナー
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・ 内容	<p>【目的】「福祉」というテーマのもと、各分野からの講演をお聞きし、改めてわがまちの現状を見直し、今後の未来と求められる役割について多角的に考えていくため。</p> <p>【講演】</p> <p>① 「ベーシックサービス宣言～分かち合いが変える日本社会～」 慶應義塾大学 経済学部教授 井出 英策 氏</p> <p>② 「一人一人の個性を尊重する「あおいけあ流」の介護の世界」 株式会社あおいけあ 代表取締役 加藤 忠相 氏</p> <p>③ 「ヤングケアラー支援の課題と支援のあり方」 一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事 日本女子大学名誉教授 堀越 栄子 氏</p> <p>④ 「ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割」 ジャーナリスト/特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり 家族会連合会広報担当理事 池上 正樹 氏</p>



所 感

- ① ベーシックサービスは、困っている人を助けるという形ではなく、全ての人を守る（保障する）ということである。誰もが生存するため、生活のため必要とするサービスがある。それをしっかり対話して決めていくことが大切だと学んだ。
- ② ケアとは世話をすること、面倒を見ることだと思ってきたが、そうでなく、一人一人の個性を尊重したプランを作り、今より状況を良くすること。今の機能を保つことである。将来は、地域共生という視点が大事。高齢化の進む中、認知症などの方が、普通に地域に暮らしているというのが当たり前の社会にしていかなければいけないと思った。
- ③ アンケート調査などを通して、ヤングケアラーの現状や抱える課題が、今まで以上にわかった。子どもの権利を守るという視点を持ち、必要な支援方針・体制について考えていきたい。
- ④ ひきこもり家族の方の実体験を聞いた。本人はもちろん、家族への支援・寄り添いも大変重要だ。一人でも多くの声を聞き、支援に繋げていけるようにと思う。